事例No.	2114
公表年度	R4
団体の属性	特別区
団体名	東京都練馬区

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT ・消防・防災

事例種類	土木・インフラ

事例内容・タイトル

住民等が専用アプリにより道路や公園遊具の破損等を自治体に連絡

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

134 住民等が専用アプリにより道路や公園遊具の破損等を自治体に連絡【東京都練馬区】

事業の概要

○　練馬区では、区民等が専用のアプリを活用することにより、地域の不具合を区に連絡する「ねりまちレポーター制度」を実施している。

○　区民等は街灯の不点灯、公園遊具の破損、道路の陥没、ゴミの不法投棄などを発見した場合には、スマホで現場を撮影し、専用アプリ「ねりレポ」に投稿する。

○　区は、投稿内容を元に現場確認し、修繕等の対応を行い、対応結果を投稿者にメールで通知する。また、投稿内容と対応結果を、「ねりレポホームページ」で公開している。







【参考情報】 人口：73.9万人
関連URL：https://nerirepo.jp/（区ねりまちレポーターHP）

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（練馬区）

ICTを活用して、地域の一人ひとりの気づきをダイレクトに地域の改善に活かすことができれば、区民と区との協働によるまちづくりが進むのではないかと考え、本制度を導入しました。現在では約2000人のレポーターが登録しています。



レポーターの投稿の中で最も多い内容はどのようなものですか？



月平均で約80件の投稿があり、街路灯の不点灯に関する投稿が最も多いです。区役所の閉庁している夜間に、いち早く気付いたレポーターから投稿をいただきます。区の点検よりも早く投稿いただけることも多く、区としても非常に助かっています。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



区が行う維持管理のための巡回点検だけでは不具合を発見して修繕等を行うまでに時間が掛かることがあります。レポーターからの投稿により、区全域の不具合を適時に把握し、迅速な修繕等が可能になります。ぜひご検討ください。

★担当：練馬区区長室 広聴広報課★

令和3年度事業費　2,227千円